

平成29年度変更契約(10月分)

建設総務課 No 1

| 担当課 | 年 度 | 当初契約日 | 工 事 名 | 契 約 者 名 | 変更前設計金額 | 変更前請負代金額 | 変更後請負代金額 | 変更前工期 | 変更後工期 | 変 更 契 約 した 理 由 |
|-----|----------|-----------|------------------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|----------------|
| | 工 事 番 号 | 変更契約日 | | | 変更後設計金額 | | 増 減 額 | | | |
| 道建設 | 平成 28 年度 | H28.7.26 | 西脇277号線道路新設改良工事その4 | 益田工業(有) | 107,119,800 | 88,136,640 | 96,976,440 | H28.7.27 | | 変更理由へのリンク |
| | 第 24 号 | H29.10.3 | | | 117,864,720 | | 8,839,800 | H29.10.31 | | |
| 下建設 | 平成 28 年度 | H28.12.19 | 北部処理区支線工事その5 | (株)吉建 | 143,637,840 | 118,911,001 | 116,559,000 | H28.12.20 | | 変更理由へのリンク |
| | 第 183 号 | H29.10.17 | | | 140,797,440 | | -2,352,001 | H29.10.25 | | |
| 道管理 | 平成 28 年度 | H28.11.30 | 道路改良工事 今福地区葵町から今福4丁目まで | (株)丸和商会 | 32,281,200 | 27,638,712 | | H28.12.1 | H28.12.1 | 変更理由へのリンク |
| | 第 220 号 | H29.10.27 | | | | | | H29.10.31 | H30.3.30 | |
| 下施設 | 平成 28 年度 | H29.1.18 | 和田川雨水簡易ポンプ場施設建設工事第2期 | (株)オオジ建設 | 69,325,200 | 62,341,920 | | H29.1.19 | H29.1.19 | 変更理由へのリンク |
| | 第 294 号 | H29.10.20 | | | | | | H29.10.25 | H29.11.8 | |
| 下施設 | 平成 28 年度 | H29.2.10 | 和田川雨水簡易ポンプ場機械設備工事 | (株)藤本水道 | 7,741,440 | 7,592,400 | | H29.2.11 | H29.2.11 | 変更理由へのリンク |
| | 第 302 号 | H29.10.3 | | | | | | H29.10.8 | H29.11.30 | |
| 下建設 | 平成 28 年度 | H29.3.14 | 中央処理区支線工事その1 | (株)日紀建設 | 175,497,840 | 149,508,720 | | H29.3.15 | H29.3.15 | 変更理由へのリンク |
| | 第 324 号 | H29.10.12 | | | | | | H29.10.20 | H30.1.31 | |
| 下建設 | 平成 28 年度 | H29.3.14 | 中之島排水区支線工事 | (株)城南建設 | 142,773,840 | 119,530,857 | 127,705,680 | H29.3.15 | | 変更理由へのリンク |
| | 第 325 号 | H29.10.18 | | | 152,539,200 | | 8,174,823 | H29.11.30 | | |
| 下建設 | 平成 28 年度 | H29.3.8 | 北部処理区支線工事その4 | (株)白洋建設 | 99,461,520 | 88,484,659 | | H29.3.9 | H29.3.9 | 変更理由へのリンク |
| | 第 340 号 | H29.10.12 | | | | | | H29.10.14 | H30.1.31 | |
| 教施設 | 平成 28 年度 | H29.3.22 | 西脇中学校外2校冷暖房設備工事その3 | (株)小藪設備 | 81,831,600 | 73,321,200 | 74,390,400 | H29.3.23 | | 変更理由へのリンク |
| | 第 350 号 | H29.10.3 | | | 83,030,400 | | 1,069,200 | H29.10.18 | | |
| 教施設 | 平成 28 年度 | H29.3.22 | 明和中学校外1校冷暖房設備工事その3 | (株)小藪設備 | 71,722,800 | 64,152,000 | 65,026,800 | H29.3.23 | | 変更理由へのリンク |
| | 第 357 号 | H29.10.12 | | | 72,705,600 | | 874,800 | H29.10.18 | | |
| 道管理 | 平成 28 年度 | H29.3.28 | 広瀬歩道橋補修工事 | 司建設工業(株) | 53,914,680 | 46,799,640 | 59,692,680 | H29.3.29 | | 変更理由へのリンク |
| | 第 360 号 | H29.10.20 | | | 68,769,000 | | 12,893,040 | H29.10.24 | | |
| 営繕 | 平成 29 年度 | H29.6.20 | わかちか広場整備工事 | 三協樹脂建材(株) | 38,728,800 | 34,851,600 | 35,326,800 | H29.6.21 | | 変更理由へのリンク |
| | 第 58 号 | H29.10.24 | | | 39,258,000 | | 475,200 | H29.10.28 | | |
| 下建設 | 平成 29 年度 | H29.6.30 | マンホールトイレ設置工事その31 | (株)玉置建材 | 16,934,400 | 14,774,400 | | H29.7.1 | H29.7.1 | 変更理由へのリンク |
| | 第 66 号 | H29.10.17 | | | | | | H29.10.18 | H29.11.17 | |
| 道建設 | 平成 29 年度 | H29.7.6 | 今福霊園排水整備工事 | 丸福建設 | 5,350,320 | 4,654,800 | 4,784,400 | H29.7.7 | | 変更理由へのリンク |
| | 第 71 号 | H29.10.13 | | | 5,499,360 | | 129,600 | H29.10.24 | | |
| 教施設 | 平成 29 年度 | H29.7.14 | 野崎小学校受変電設備移設工事 | (有)新和電機 | 8,994,240 | 7,992,000 | | H29.7.15 | H29.7.15 | 変更理由へのリンク |
| | 第 82 号 | H29.10.6 | | | | | | H29.10.12 | H29.11.11 | |
| 河港湾 | 平成 29 年度 | H29.7.25 | 永山川河川維持工事 | (株)青木実業 | 2,448,360 | 2,170,800 | 2,458,080 | H29.7.26 | | 変更理由へのリンク |
| | 第 91 号 | H29.10.27 | | | 2,773,440 | | 287,280 | H29.11.2 | | |

| | |
|----------|---|
| 年 度 | 平成28年度 |
| 工 事 番 号 | 第 16000024 号 |
| 工 事 名 | 西脇277号線道路新設改良工事その4 |
| 変更後の工事場所 | 和歌山市つつじが丘4丁目地内から西庄地内まで |
| 変更後の工事概要 | 土工 一式、法面工 一式 擁壁工 一式、補強土壁工 一式 側溝工 一式、集水柵工 一式 街渠工 一式、排水工 一式 管渠工 一式、付帯工 一式 撤去工 一式 |
| 変更の理由 | 本工事において、ブロック積み擁壁工を現場吹付法砕工及び鉄筋挿入工へ工法変更したことによる増額変更や盛土の不足土を他現場より搬入したことなどによる増額変更が必要になった。 |

| | |
|----------|---|
| 年 度 | 平成28年度 |
| 工 事 番 号 | 第16000183号 |
| 工 事 名 | 北部処理区支線工事その5 |
| 変更後の工事場所 | |
| 変更後の工事概要 | <p>φ400mmVP管推進工 低耐荷力泥土圧方式 L=36.10m φ200mmVP管推進工 低耐荷力圧入方式 L=44.95m φ350mm鋼製さや管推進工 L=7.70m φ200mmPRP管 布設工 L=465.45m マンホール工(組立2号2ヶ,組立1号17ヶ,組立0号4ヶ,組立楕円2ヶ) 25箇所 取付管およびます工 89箇所 付帯工 1式 水道管移設工 1式</p> |
| 変更の理由 | <p>試掘により、想定より水道管が下水道工事の支障となる範囲が少ないことが分かった。そのため、水道管の移設区間の減少に伴う変更。</p> |

| | |
|-----------|--|
| 年 度 | 平成28年度 |
| 工 事 番 号 | 第16000220号 |
| 工 事 名 | 道路改良工事 今福地区葵町から今福4丁目まで |
| 変更後の工事場所 | |
| 変更後の工事概要 | 土工・・・・・・・・1式 構造物撤去工・・・1式 路面排水工・・・・1式 道路付帯施設工・1式 舗装工・・・・・・・・1式 付帯工・・・・・・・・1式 |
| 変 更 の 理 由 | 関係機関との協議・調整に不測の日数を要したため |

| | |
|-----------|--|
| 年 度 | 平成28年度 |
| 工 事 番 号 | 第16000294号 |
| 工 事 名 | 和田川雨水簡易ポンプ場施設建設工事 第2期 |
| 変更後の工事場所 | |
| 変更後の工事概要 | 建築工事 一式 構 造：鉄筋コンクリート造 規 模：地上1階 建築面積：126.06㎡ 延床面積：126.06㎡ |
| 変 更 の 理 由 | 連日の雨の影響により、外壁塗装等の施工の着手ができず、想定以上の日数を要するため。 |

| | |
|-----------|--|
| 年 度 | 平成28年度 |
| 工 事 番 号 | 第16000302号 |
| 工 事 名 | 和田川雨水簡易ポンプ場建築機械設備工事 |
| 変更後の工事場所 | |
| 変更後の工事概要 | 機械設備工事 ポンプ棟 換気設備工事 一式 給水設備工事 一式 電気棟 空調設備工事 一式 換気設備工事 一式 衛生器具設備工事 一式 給水設備工事 一式 排水設備工事 一式 |
| 変 更 の 理 由 | 本工事の現地施工にあたり、関連工事の工程に遅れが生じており、工程調整等を行う必要があるため。 |

| | |
|----------|---|
| 年 度 | 平成28年度 |
| 工 事 番 号 | 第16000324号 |
| 工 事 名 | 中央処理区支線工事その1 |
| 変更後の工事場所 | 和歌山市中之島地内 |
| 変更後の工事概要 | φ250mmHP管推進工 高耐荷力泥水方式 L=402m 立坑工 1式 マンホール工(2号-8ヶ) 8箇所 付帯工 1式 整備面積 0ha |
| 変更の理由 | 本工事施工にあたり、地元の調整に不測の日数を要し工事着手が大幅に遅れ、当初予定していた以上の日数が必要となったため。 |

| | |
|----------|---|
| 年 度 | 平成28年度 |
| 工 事 番 号 | 第16000325号 |
| 工 事 名 | 中之島排水区支線工事 |
| 変更後の工事場所 | |
| 変更後の工事概要 | <p>φ700mmHP管推進工 高耐荷力泥土圧方式 L=73m 立坑工</p> <p>φ1000mmFRPM管布設工 L=130m φ900mmFRPM管布設工 L=79m φ400mmVU管布設工 L=5.6m マンホール工 10箇所 (矩形1500形-1ヶ、3号-5ヶ、2号-3ヶ、1号-1ヶ)</p> <p>付帯工 1式 水道管移設工 1式 整備面積(雨水) 0.53ha</p> |
| 変更の理由 | <p>本工事のR15およびR17路線の管渠工、付帯工において、通行量が想定よりも多いため、施工時間帯を昼間施工から夜間施工に変更した。</p> <p>また、R23路線において、試験掘の結果、地下水位が想定よりも高かったため、地下水位低下工を増工した。</p> <p>また、道路管理者と舗装復旧範囲について協議した結果、舗装撤去復旧工を増工した。</p> |

| | |
|----------|--|
| 年 度 | 平成28年度 |
| 工 事 番 号 | 第16000340号 |
| 工 事 名 | 北部処理区支線工事その4 |
| 変更後の工事場所 | |
| 変更後の工事概要 | <p>φ200mmVP管推進工 低耐荷力泥土圧1工程方式 L = 6 m φ200mmPRP管布設工 L = 399 m マンホール工 17箇所 (2号-1ヶ, 1号-16ヶ) 取付管およびます工 48箇所 付帯工 1式 水道管移設工 1式 整備面積(汚水) A = 0, 94 ha</p> |
| 変更の理由 | 開削工において、既設埋設管が多く、作業に不測の日数を要するため。 |

様式第2号

(変更契約用)

| | |
|-----------|---|
| 年 度 | 平成28年度 |
| 工 事 番 号 | 第16000350号 |
| 工 事 名 | 西脇中学校外2校冷暖房設備工事その3 |
| 変更後の工事場所 | |
| 変更後の工事概要 | 機械設備工事・・・一式 電気設備工事・・・一式 |
| 変 更 の 理 由 | 公共工事設計労務単価の運用に係る特例措置に伴い、請負代金額に変更が生じたため。 |

| | |
|----------|---|
| 年 度 | 平成28年度 |
| 工 事 番 号 | 第16000357号 |
| 工 事 名 | 明和中学校外1校冷暖房設備工事その3 |
| 変更後の工事場所 | |
| 変更後の工事概要 | 機械設備工事・・・一式 電気設備工事・・・一式 |
| 変更の理由 | 公共工事設計労務単価の運用に係る特例措置に伴う増額、また今回工事範囲の一部の天井ボードにアスベストが含有していることが判明し天井ボードの撤去復旧枚数及び処理費用等が増加し、契約額に変更が生じました。 |

| | |
|-----------|--|
| 年 度 | 平成28年度 |
| 工 事 番 号 | 第16000360号 |
| 工 事 名 | 広瀬歩道橋補修工事 |
| 変更後の工事場所 | |
| 変更後の工事概要 | 補修工 1 式 仮設工 1 式 |
| 変 更 の 理 由 | 塗替塗装工において、塗膜剥離工1回で設計していたが、1回の施工では既存塗膜を除去できず、2回目の塗膜剥離工が必要となったため。(建設工事請負契約書第18条第4項第3号) |

| | |
|-----------|--|
| 年 度 | 平成29年度 |
| 工 事 番 号 | 第 17000058 号 |
| 工 事 名 | わかちか広場整備工事 |
| 変更後の工事場所 | |
| 変更後の工事概要 | わかちか広場整備工事 観光案内所工事 一式 地場産業振興センター他工事 一式 機械設備工事 一式 |
| 変 更 の 理 由 | <p>【観光案内所】 観光案内所既存壁解体部で一部既存配管が干渉し解体面積が縮小したことにより減工。 観光案内所既存壁解体に伴い天井がむき出し撤去範囲拡大したことにより増工。 観光案内所外部天井不燃塩化ビニル仕上げをアルミ板に変更したことにより増工。 別途発注電気設備工事の要望で天井点検口・開口補強箇所増設により増工。 観光案内所系統の空調ドレン配管を一部再利用したことにより減工。</p> <p>【地場産業振興センター】 既存家具撤去処分予定が既に撤去処分されていたことにより減工。 自動ドアシャッター取付け時既存床タイルが干渉し一部撤去増工。 壁面看板サイン絵切り文字名称変更により設計時から10文字増加したことにより増工。 地場産業振興センター前の空調ダクトを一部再利用したことにより減工。 地場産業振興センター系統の空調冷媒配管施工のため、天井点検口増設により増工。</p> |

| | |
|-----------|---|
| 年 度 | 平成29年度 |
| 工 事 番 号 | 第17000066号 |
| 工 事 名 | マンホールトイレ設置工事その31 |
| 変更後の工事場所 | |
| 変更後の工事概要 | マンホールトイレ工 1式 設置基数 (組数) 10基 (1組/10基) マンホール (1号) 1組 付帯工 1式 |
| 変 更 の 理 由 | 夏祭り実施に伴う地元調整があったため、 契約工期内での完成が困難となったため。 |

| | |
|-----------|--|
| 年 度 | 平成29年度 |
| 工 事 番 号 | 第17000071号 |
| 工 事 名 | 今福霊園排水整備工事 |
| 変更後の工事場所 | |
| 変更後の工事概要 | 土工・・・・・・・・・・1式 構造物撤去工・・・・・・・・1式 排水構造物工・・・・・・・・1式 付帯工・・・・・・・・・・1式 舗装工・・・・・・・・・・1式 水道管移設工・・・・・・・・1式 |
| 変 更 の 理 由 | 本工事において、製品を据えていくところの支障になる水道管移設が発生したことによる増額変更。また既設の舗装版の厚み $t=100$ と設計していたが、 $t=150$ であったことによる増額変更が必要となった。 |

| | |
|-----------------|---|
| 年 度 | 平成29年度 |
| 工 事 番 号 | 第17000082号 |
| 工 事 名 | 野崎小学校受変電設備移設工事 |
| 変 更 後 の 工 事 場 所 | |
| 変 更 後 の 工 事 概 要 | |
| 変 更 の 理 由 | ダイオキシン等の調査・分析に想定以上の時間を要したため学校の夏季休業中に施工を行うことができず、解体工事を行える日が学校の休日に限られてしまったが、休日にも学校行事の多い時期であり工期内での工事完成が困難になったため。 |

| | |
|-----------|--|
| 年 度 | 「平成29年度」 |
| 工 事 番 号 | 第17000091号 |
| 工 事 名 | 永山川河川維持工事 |
| 変更後の工事場所 | 和歌山市永山地内 |
| 変更後の工事概要 | ・ 浚渫工 L=75.0m ・ 付帯工 1式 |
| 変 更 の 理 由 | 本工事の掘削土において、草の根が混在しているためふるい分けの増工。また、現場の作業条件から翌年度の浚渫ができないことから、浚渫土量を11m ³ 増工。 |